



市議会議員 中野あきと事務所ニュース

591-7376
akito.n@m3.dion.ne.jp

市議会議員 中野あきと事務所ニュース

みどり清流

2003年12月発行 第25号

日本共産党 中野あきと事務所
日野市南平7-6-72 ☎599-3350
〒191-0041 発行責任者 小山敏正

しんぶん 赤旗

日刊紙 一か月 2900 円
日曜版 一か月 800 円

お申し込みは
南多摩事務所 ☎582-0505
又は、中野事務所へ

生活・法律相談など
お気軽にお立ち寄り下さい

高幡
南平駅
中野あきと事務所

北野街道

高幡不動駅の建替え すれ違う市の説明と住民の声

計画は①来年から3年間で、駅舎と京王ビル（京王ストア）を建替える。②高幡駅の南北を結ぶ自由通路、モノレール駅を結ぶ連絡通路を国の補助事業を活用して、京王と市の共同事業として行なう。③エレベーター、エスカレーターの設置などバリアフリー化をすすめるということです。国が5億円、市が5億円負担する公共事業で、他に京王は5億円の負担です。

11月19日の夜、七生公会堂で行なわれた建替え計画に関する第二回説明会に参加しました。説明会では集まった住民の方々から様々な意見や要望が出されましたが、計画の大枠は市と京王との間で固められていて、京王は「新年早々に着工したい」としています。出された住民の声が本当に生かされるのか疑問も感じたところです。（中野事務所・K）

北側の玄関にふさわしい昇降口を

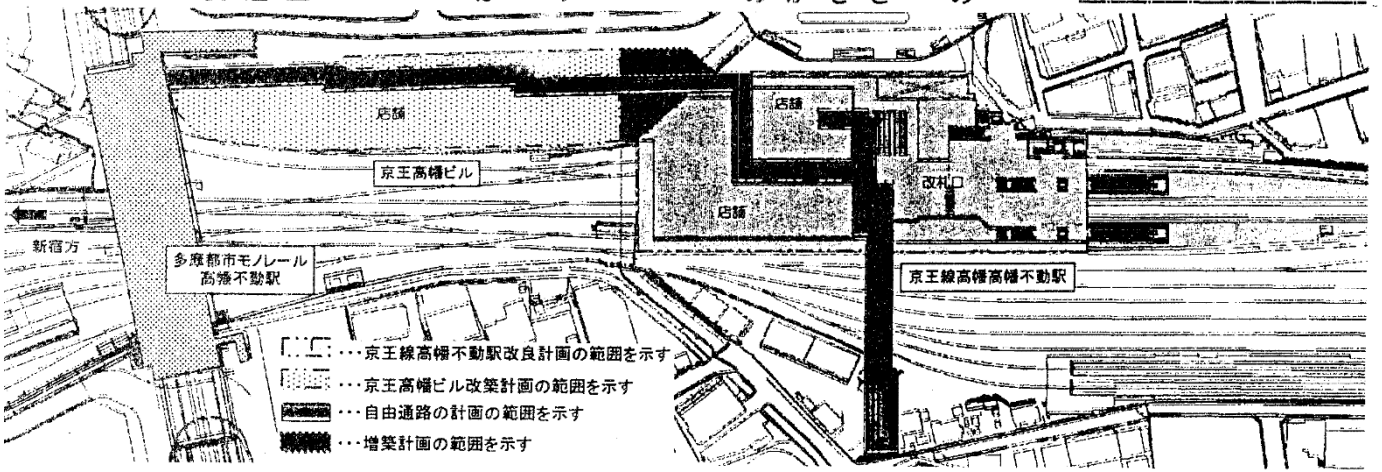
京王は「市が用地を提供できないというので、京王の敷地内に昇降口をつくる。今の計画以上のものはむり」としています。ところが市からは、何で用地が確保できないのか、どんな努力がなされたのかの説明がありません。このままでは昇降口ができたというだけで、住民が望む植栽などをほどこした北側の玄関にふさわしいものになる見通しは全く見えません。

危険な南北を結ぶ地下道の改善を

「住民の皆さんに議論して頂いて決めます」と市はいつています。しかし京王は高幡ビルの着工は年明け早々としています。本当に住民・利用者の声を生かす保障はあるのでしょうか。

障害者・高齢者にやさしい駅舎を

エレベーター・文字情報・表示板などさまざまな要望が出されています。ところが市も京王も「何かあれば連絡を下さい」「意見を聞く場はつくります」「可能な要望なら取り入れます」といつています。市は「バリアフリーよりもユニバーサルデザインだ」といいます。しかしその意味のなかには「設計段階から皆の声を生かす」という意味が含まれているのです。図面を広げて話し合っ



草の根から

最近市内では、まちづくりをめぐっての説明会が各地で開かれています。高幡不動駅改良住民説明会、小学校統廃合説明会、旭が丘大型マンション建設の説明会：：：いずれも住環境や生活環境、教育環境に大きな影響を及ぼす問題ばかりであり、これに住民の皆さんがさまざまな形で立ち上がっています。住民が主人公の取り組みが広がっていることを実感します▼これに行政がどうこたえるのか

が問題です。高幡駅改良の説明会では、枠組みは京王との間で決めてしまい、何かあれば言うてきなさいという態度です。統廃合の説明会では、少人数学級の問題点ばかりを並べて説明し「資料が一方的」「メルिटもあるはず」と参加者から強い指摘を受けました。『住民との協議によるまちづくり』を掲げる市の姿勢が問われています。 中野あきと

学校統廃合問題 中野市議が三度目の質問 合意なき統廃合はするな

平山小の改築は待ったなし

12月4日の本会議で、一般質問を行なった中野あきと市議は、6月、9月の市議会に引き続き、平山小と平山台小の統廃合の問題をとりあげました。この問題は現在、17年4月実施の予定を延期し、保護者・住民との話し合いを継続することになっています。

中野市議は、①統合が行なわれれば廃校になってしまう平山台小の保護者・住民との合意なき統合は行なわない。②統合を前提にしか平山小の校舎の改築を考えないということは、学童の命、安全をないがしろにするものだ、と市教委の姿勢を追及しました。

とくに耐震診断や耐力度調査の結果は、いずれも平山小の改築が待ったなしのさしせまった状況であり、早急に改築に当たるべきだと訴えました。

市教委は、改築が必要だという認識すら示さず、あくまで統合を前提とした答弁に終始しました。

12月6日説明会 資料が一方的と指摘の声

12月6日、平山小と平山台小で統廃合のための説明会が行われました。この説明会に市教委は、『どうして学校統合なの?』という30ページをこえる資料を配布し、平山台小の保護者が強く求める少人数学級のデメリットを説明しました。

これに対し平山台小の会場に参加した保護者・住民の多くから「資料が一方的」「当然あるはずのメリットをなぜ示さないのか」という声が出され、「少人数学級を平山台小の特徴として残してほしい」という要望が発言されました。

西平山 区画整理相談会のお知らせ

とき 12月21日(日午後2時～4時)

ところ 東宮下地区センター

東平山三丁目(変電所裏)

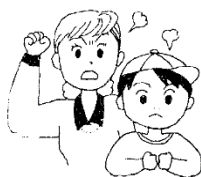
主催 中野あきと事務所

※問い合わせ ☎599-3350

お気軽にご参加下さい。

富士電機西側に巨大マンション計画

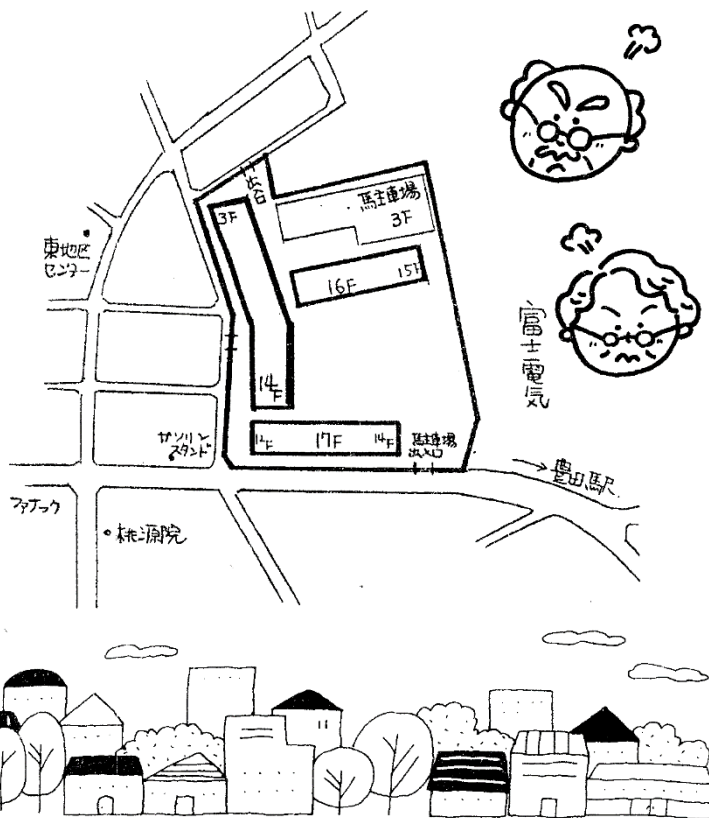
周辺住民・市議会に『請願』提出 (17階建て680戸)



富士電機西側の工場跡地(富士町)に市内で最大級のマンション建設の計画が持ち上がり、周辺地域で大きな問題となっています。施工主の長谷工コーポレーションが明らかにした建築計画では、約二六〇〇平米の土地に地上17階、最高高さ50米、建築戸数六八〇戸の分譲マンションを建設するとしています。

周辺住民のみなさんは、「こんなマンションを建てられたら街の姿が一変してしまう」「周辺の生活を無視した計画だ」として11月29日の夜集会を開き、六〇名を越す参加で『旭が丘環境を守る会』を発足。市議会にも『建設計画の変更と市として事業者への適切な指導を求める』請願を提出しました。

中野あきと市議もまちづくり建設委員として、住民の皆さんの意見を聞きながら、要望が反映するよう力をつくします。



短信

「教育委員会の問題であって、市長が意見を差し挟むのはむづかしい」。四日、平山小、平山台小の統廃合問題で質問に立った中野市議に対する市長の答弁の一節です。行政が教育のあり方に介入するのは問題ですが、事は教育環境の整備の問題です。少人数学級を存続させてほしいという保護者の願いや、地震に耐えられない待ったなしの平山小の校舎の改築をどうするか。行政の責任が問われているのです。盗聴事件の武富士には「三つの敵」があるそうです。その中で団体として固有名詞があるのは日本共産党だけ。民放の在京キー局がサラ金業界から得ている広告収入は年間二八〇億円。年間で「億」を超える武富士からの広告収入のあった新聞社も。巨額の広告費は報道も委縮させます(赤旗記事『会長の盗聴』より)。「しんぶん赤旗」には広告費も脅しも通じません。▽「ひるむなに昭和のあの日みがえる」(朝日川柳)。十二月を六十二年前の忌まわしい月にしてはなりません。イラク派兵ゆるすまじ。